

平成 27 年度 施策評価シート

	作成日	H28.11.30
基本姿勢	2	地域資源を活かした「産業のしま」
政 策	4	次世代のしまの可能性を広げる産業と雇用づくり
基本方針	第一次産業をはじめとする地場産業を活性化させ、雇用の拡大・定住促進を図るとともに、資源及び経済の循環型社会を形成し、持続可能な「しま」を目指します。	

基本施策	2-4-①	新産業の創出・育成
主管課名	総合政策課	所属長名 小 柳 哲 也
関係課名		
1 次評価	基本施策の評価	
	○地域資源を活用して新たな事業や特産品の開発等を行う起業家への支援、新分野に進出する企業者等の支援	
	<p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業時の初期投資や人材研修は、事業発展に大きく影響することから、新たに支援制度を制定し、初期投資費用などに対する支援スタートし、IT企業の創業に対し、1件の助成を行った。 	
	<p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT企業の創業に対し、1件の助成を行ったが、計画どおりの人材確保ができなかった。開業時期が年度末にずれ込んだこと、またIT系の企業ということで、町民が特殊性を感じたものと思われる。 	
	<p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業サポートセンターにおいて、創業や新分野進出などの相談に対し、十分なサポートを行い、創業等の件数を増やし、雇用の場の確保にも繋げていく。 	
○海洋エネルギー発電など自然環境を活用した再生可能エネルギー産業推進		
<p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県海洋再生可能エネルギー実証フィールド事業モデル構築調査への協力を行った。 		
<p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎県海洋再生可能エネルギー実証フィールド事業において、本町は陸域サポートのみであるため、直接的な海洋エネルギー産業推進ができていない。 		
<p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県海洋再生可能エネルギー実証フィールド以外に滝ヶ原瀬戸の環境が潮流発電に適しているとの調査結果が出ており、事業者等の提案次第では協力していく。また、その他の再生可能エネルギー産業の可能性についても研究する。 		
○産学官連携と協働による地域の課題解決につながる調査研究や新産業の開発		
<p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創価大学、長崎大学及び民間企業等と連携し、磯焼け対策のための実証実験を行った。 		
<p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯焼け対策実証実験に関わる大学等の協力を得て、新産業の開発を推進したかったが、磯焼け対策実証実験に注力し、新産業の開発までには至らなかった。 		
<p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微細藻類関連の新産業開発の話もあることから、可能性について関係者の協力を得ながら調査研究を行う。 		

	<p>○地域活性化アドバイザーやサポーター制度の導入推進</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、就職・就漁（農）などの支援・相談及び定住に関する相談窓口として産業サポートセンターを新たに開設し、サポート業務を開始した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター長の採用に至らず、支援員のみでの対応になったことから、十分なサポート体制がとれなかった。 <p>■今後の実施方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関からの支援を受け、産業サポートセンター職員のスキルアップを図り、サポート体制の強化に取り組む。
2次評価	<p>町内産業の活性化は人口減少対策において一丁目一番地と考えており、1人でも多くの雇用機会を創出する地域づくりに危機感を持って各種事業に取り組み、産業サポートセンターを中心に全力でチャレンジしながら、町全体で支援体制の強化を図っていくこと。</p>

基本施策	2-4-②	つばき産業プランの実践	
主管課名	農林課	所属長名	下山透
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○つばき油の増産のみならず、つばきの木全てを有効に利用し、地域住民との協働によるつばき関連産業の活性化</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自生つばき林において町有林25.74ha、個人有林8.5haの整備を行った。また、作業道において町有林1,752m、個人有林1,048m開設を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自生つばき林の整備や作業道の開設において、個人所有者へ説明から承諾までの事務に時間を要するため、実施面積が大幅に増加させることに苦慮している。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自生つばき林整備後は、必要に応じ、下刈等を実施する。また、個人所有者のつばき林を積極的に整備するため、地区説明会や、情報提供を実施していく。 		
	<p>○地域密着型の6次産業化における雇用の創出と地域経済の活性化</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県及び県6次産業化サポートセンターと連携して6次産業化セミナー、個別相談会を開催し、6次産業化に取り組みたいと考える事業所等に必要な情報を提供している。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次化の成功事例をみると、20～30年といった息の長い取組みが多が、現行の事業計画では「5年以内」の比較的短い期間で一定の成果を出すスキームになっており、単独で新規に6次化を成功させるハードルは相当高いといえる。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県6次産業化サポートセンターと連携して、6次産業化に関する様々な問題に対応できる6次産業化プランナーの派遣や制度や資金の周知を図っていき担い手の育成に努めていきたい。 		
	<p>○耕作放棄地や山林・原野などへのつばきの植栽によるつばき油の増産</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒廃農地復旧に218本、つばき林造成に170本、成人式記念に220本、沿道つばき林整備に204本、その他の事業として、510列島まつりやクルーズ船入港時でのPRや、鯨賓館、奈良尾港ターミナルへの展示用として1,965本、合計2,777本のつばき苗を支給した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、過疎化により畑や山の作業に従事する人数が減っている。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、つばき苗支給による荒廃農地復旧、つばき林造成、沿道つばき林整備に取り組むとともに、資生堂や地元団体と協力して椿の植林・保全ボランティアに努め、つばき油の増産に向け取り組んでいく。 		
2次評価	<p>地域住民や関係機関等と連携し、雇用創出や産業の育成など、地域資源を活かしたつばき関連産業の活性化に取り組み、官民一体となって「椿」を活用した地域密着型の6次産業化のモデルとなるよう努めていくこと。</p>		

基本施策	2-4-③	地場産業の振興と地産地消の推進
主管課名	農林課、水産課、観光商工課	所属長名
関係課名		
1次評価	基本施策の評価	
	<p>○農水産物の生産、消費を高めるための地産地消を推進、体制整備</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協や漁業者が朝市やイベントの機会を利用して、地場産品の販売や売り込みを行なっている他、スーパーや鮮魚店との取引を行い、地産地消の推進を図った。【水産課】 ・農林水産物青方直売所（メル・カピィあおかた）、農産物奈良尾加工所、農林水産物魚目直売所（番嶽ふれあい市場）などにおいて、取り扱う地場農産物の品目・数量の拡大や周年的な品揃えの充実等、運営・販売力の強化を図った。地産地消を推進する為、給食センターの要望に応えることが出来るよう話し合いを年2回行っている。【農林課】 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元需要者のニーズに沿った安定供給体制の構築が課題である。【水産課】 ・農産物直売所については、町内の農林水産物の地産地消の拠点となっており、今後はさらに販売額の向上につながる取組を進めていく必要がある。学校給食への地場産野菜の供給については、数量確保が不安定であることや、地場産農産物の種類が少ないことなど、農産物調達に課題がある。【農林課】 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内での利用拡大に向け取り組む漁業者に対する支援策等を検討し、地産地消の推進、体制整備に取り組んでいく。【水産課】 ・担い手の育成・確保に努めいくため、農産物直売所については、新規会員数を増加させ販売額の向上に努めていく。学校給食への地場産野菜の供給については、今後も引き続き、地場産農産物使用にむけて関係機関等と協議を行っていく。【農林課】 	
	<p>○五島手延うどんや水産加工品などの物産資源の地域内での利用拡大推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協や漁業者が朝市やイベントの機会を利用して、水産加工品の販売や売り込みを行なっている他、スーパーや鮮魚店との取引を行い、地域内での利用促進を図った。【水産課】 ・五島手延うどん振興協議会が主催する「五島うどんば食うてさるこう」やクルーズ船寄港、町内イベント時における五島うどんの振舞いを実施し、利用拡大を図った。【観光商工課】 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産加工品においては、島外産品との価格や品質における競争が厳しく苦慮している。【水産課】 ・五島うどんについては、「五島うどんば食うてさるこう」が非常に好評であり、利用拡大が図られていると考える。【観光商工課】 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進と同様に、地域内での利用拡大に向け取り組む漁業者に対する支援策等を検討し、利用拡大推進に向け取り組んでいく。【水産課】 ・「五島うどんば食うてさるこう」の出店数を増やして、更なる利用拡大に向け五島手延うどん振興協議会等と連携して取り組んでいく。【観光商工課】 	
	<p>○伝統的な食、地域の風土にあった郷土料理の復活や改良など、地域食文化の継承</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業士会や水産業普及指導センターが協力して、町内の学校において魚教室を開催したり、漁協や関係グループが朝市やくじらどん祭り等を通して食文化の継承などの努力を行っている。【水産課】 ・特産品ブランド全国PR強化事業において、五島うどん3料理のレシピとあごだしつゆの作り方の動画を製作し、五島手延うどん振興協議会のHPへ掲載した。【観光商工課】 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯の増加や核家族化により、調理時間の確保や郷土料理の継承の機会確保が難しくなっている。【水産課】 ・県立大学の協定事業において郷土料理レシピ集を作成しているものの、各地域にはまだまだ郷土料理が存在するため、町全体の郷土料理を集約していく必要がある。【観光商工課】 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業士会や関係団体等と連携・協力し、郷土料理の復活や改良、若い世代（小中高生等）へ食文化の継承に向け、機会を提供する取組に努めていく。【水産課】 ・パートナーシップ協定事業等において、新たな素材等を加えた、郷土料理の改良を手がけていくとともに、町内関係団体等と連携して郷土料理の集約に取り組んでいく。【観光商工課】 	

	<p>○農漁業の6次産業化推進</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・六次産業化法に基づく「総合化事業計画」の認定を受け、1事業者が養殖魚を利用した加工販売事業に取り組んでいる。また、県等と連携して6次産業化セミナー、個別相談会を開催し、6次産業化に取り組みたいと考える事業所等に必要な情報を提供している。【農林課・水産課】</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・6次化の成功事例をみると、20～30年といった息の長い取組みが多いが、現行の事業計画では「5年以内」の比較的短い期間で一定の成果を出すスキームになっており、単独で新規に6次化を成功させるハードルは相当高いといえる。【農林課・水産課】</p> <p>■今後の取組方針 ・県6次産業化サポートセンターと連携して、6次産業化に関する様々な問題に対応できる6次産業化プランナーの派遣や制度や資金の周知を図っていき担い手の育成に努めていきたい。【農林課・水産課】</p>		
2次評価	<p>直売所間の連携を強め、ホームページ、SNS等を活用し、食材そのものだけでなく、地産地消の意義などを含めたPRや、生産者が自立し主体的に取り組むことができるよう支援方法を検討すること。また、地産地消の推進を図るため、一人でも多くの生産者ができるよう関係課等と連携強化を図っていくこと。</p> <p>地域資源を活かした6次産業化の取組みについては、農水産業者等の状況把握を行いながら、県、関係団体等をはじめ関係課内と連携したなかで、様々な可能性について研究していくこと。</p>		
基本施策	2-4-④	特産品の販路拡大	
主管課名	観光商工課	所属長名	安永佳秀
関係課名			
1次評価	<p style="text-align: center;">基本施策の評価</p> <p>○特産品等の更なるブランド化に向けた取組み推進、農水商工及び観光が連携した研究開発体制の強化</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・既存のブランド商品は、「特産品ブランド全国PR強化事業」においてPRを図った。また、新しいブランド化の支援として「特産品ブランド化支援推進事業」でデザインに関する助成を行った。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・更なるブランド化を推進するためには、目的とする市場を十分に分析して商品作りを行う必要がある。</p> <p>■今後の取組方針 ・ターゲット市場の調査、販路開拓、プロモーション、商品の改良等、特産品の強み・弱みの検討や催事（物産展、イベント等）への出展及びバイヤー等招聘による個別相談会の実施など、国内外における特産品マーケティング事業を実施していく。</p> <p>○特産品の地元消費促進、物産展への積極的な参加やバイヤー招へい、地場産品の情報提供など販路開拓や認知度向上</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・「五島うどんば食うてさるこう」において五島うどんの消費促進を図った。物産展への参加促進のために物産展等参加団体出店促進事業を活用し参加事業所への支援を行った。情報提供や認知度向上については、特産品ブランド全国PR強化事業やパートナーシップ協定事業においてイベントやバイヤーの招聘などを行い、特産品の販路拡大と認知度向上を図った。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・情報提供や認知度の向上については、まだ十分とはいえない。特産品等の販路拡大を促進させるため、町内事業所が主体性を発揮し効果的な事業の実施ができるようコーディネーター及び外部専門家による指導等を行い、販売戦略を構築させる必要がある。</p> <p>■今後の取組方針 ・ターゲット市場の調査、販路開拓、プロモーション、商品の改良等、特産品の強み・弱みの検討や催事（物産展、イベント等）への出展及びバイヤー等招聘による個別相談会の実施など、国内外における特産品マーケティング事業を実施していく。また、。また、パートナーシップ協定事業の充実を図っていくとともに、SNS等を活用して地域産品の情報発信、認知度向上に向け取り組んでいく。</p>		

	<p>○特産品の特性に合わせた販売戦略による更なる知名度向上、島外向けの販売活動に対する支援や輸送コスト支援</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うどんを対象品目とした輸送コストへの直接支援を実施することにより、輸送コストの低廉化を図り、本土との格差の是正、離島産品の売上高の増大を目指すとともに、本町産業の活性化と雇用拡大に繋げた。また、特産品ブランド全国PR強化事業等において、物産展開催、飲食店フェア、CM製作など特産品の販路拡大と認知度向上を図った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品等の販路拡大を促進させるため、町内事業所が主体性を発揮し効果的な事業の実施ができるようコーディネーター及び外部専門家による指導等を行い、販売戦略を構築させる必要がある。また、輸送コストへの直接支援を実施することにより、輸送コストの低廉化を図れたものの支援に該当する事業所数が少ないのが現状である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット市場の調査、販路開拓、プロモーション、商品の改良等、特産品の強み・弱みの検討や催事（物産展、イベント等）への出展及びバイヤー等招聘による個別相談会の実施など、国内外における特産品マーケティング事業を実施していく。また、輸送コスト支援については、原材料の移入について支援ができないか要望していく。
2次評価	<p>五島うどんをはじめ町の有する魅力あふれた特産品を広く町内外に流通させ、町内産業の振興、雇用創出と併せて知名度向上につなげていくため、各市場におけるマーケティングや顧客ニーズ調査及び販路拡大、プロモーション活動を戦略的に実施し、輸送コスト支援を含めた販売戦略を構築していくこと。</p>

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
自生つばき林の利用率	目標	-	-	-	-	-	2.5%
	実績	0.5%	5.6%	-	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	-	-	-	-
つばきの植栽による耕作放棄地の解消	目標	-	-	-	-	-	55ha
	実績	-	4.1ha	-	-	-	-
	達成率	-	7.5% (37.5%)	-	-	-	-
つばき油の売上額	目標	-	-	-	-	-	12,600万円
	実績	2,536万円	3,530万円	-	-	-	-
	達成率	-	9.9% (49.5%)	-	-	-	-
つばき関連商品の売上額	目標	-	-	-	-	-	1,600万円
	実績	650万円	749万円	-	-	-	-
	達成率	-	10.4% (52.0%)	-	-	-	-
食料品製造業出荷額 (H22工業統計)	目標	-	-	-	-	-	212,700万円
	実績	129,971万円	123,311万円	-	-	-	-
	達成率	-	0% (0%)	-	-	-	-

施策事業の進捗状況

2-4-① 新産業の創出・育成

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名) 産業起業支援補助事業 【観光商工課】</p> <p>(事業目的) ・地域資源を活用して、町内で新たに事業を起こす方及び特産品の研究開発を行う方を支援することにより、新たな雇用を創出し、町内の産業の活性化と発展を図る。</p> <p>(事業概要) 地域資源を活用した新たな事業や新たな特産品の開発等に係る事業を対象に、100万円を上限に補助する。(常時雇用等の条件あり)</p>	実施年度	平成21年度～平成27年度	
		成果指標	補助金交付件数(述べ)	
		目標値	52件	
		実績値	42件	
		達成率	80%	
		決算(見込)額	1,000千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	申請者に対し全ての方へ交付することを目標とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 前年度に認定した方を継続して支援した。</p> <p>(成果・課題等) 新商品『あごんちよび』の生産等に対し規定どおり支援を行った。 第28回むらおこし特産品コンテストにおいて、経済産業大臣賞を受賞した。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
2	<p>(事業名) 産業サポートセンター事業 【総合政策課】</p> <p>(事業目的) 関係機関と連携し、就職・就漁(農)などの支援・相談及び定住に関する相談窓口を新たに開設し、創業数の増や生産額の増、雇用者の増等につなげる。</p> <p>(事業概要) 安定的な雇用の創出等のため、町内の事業所等の実態を把握し、不足している支援等に向けた対策の構築を目指す。 起業家教育や新商品開発などに対し、専門家による営業戦略やスキルアップに向けたアドバイスの機会を設け、雇用拡大や産業強化につなげる。 町内の空き家・空き店舗の情報をとりまとめ、定住希望者等に情報提供する。</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	新規雇用者数	
		目標値	350人	
		実績値	104人	
		達成率	29.7%	
		決算(見込)額	6,826千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、新規雇用者数を5年間で350人を重要業績評価指標(KPI)として設定している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) ・創業スタートアップセミナー開催 135人受講 ・創業等の相談対応 26人延べ52件 ・事業所数把握(机上) 1,386件</p> <p>(成果・課題等) ・セミナーや相談対応により、創業希望者等の支援ができた。 ・十分なサポートができるよう、相談体制の強化と職員のスキルアップが必要。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

2-4-① 新産業の創出・育成（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
3	<p>(事業名) 創業支援奨励事業 【総合政策課】</p> <p>(事業目的) 雇用機会が特に不足している本町においては、新たな企業が立ち上がることは、雇用の場の創出でもあり、新たな雇用につながる。創業時の初期投資や人材研修は、事業発展に大きく影響することから、新たに支援制度を制定し、平成27年度から、その初期投資費用などの一部を支援し、より多くの雇用につなげたい。</p> <p>(事業概要) 申請年度内に新規雇用又は雇用創出が見込まれる新規創業等を行う者に対し、補助金を交付する。 ①初期投資費用等の一部 ②新規雇用奨励金 ③創業時人材育成費用の一部 ④特産品開発費用の一部を支援</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	新規雇用者数	
		目標値	350人	
		実績値	104人	
		達成率	29.7%	
		決算（見込）額	3,000千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、新規雇用者数を5年間で350人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) IT関連企業が創業するにあたり、初期投資費用の一部として300万円を支援した。</p> <p>(成果・課題等) 30名（将来計画雇用数）の雇用の場の確保ができた。（創業時4名雇用） 早期に創業等ができるよう希望者等へのサポートが必要。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
4	<p>(事業名) 地域おこし協力隊推進事業（椿油研究試作事業） 【農林課】</p> <p>(事業目的) 地域資源である椿油の有効活用を図るため、椿油研究試作施設を活用して新商品開発、販路拡大のための活動を行う。</p> <p>(事業概要) ・化粧品、食用等従来の商品の品質向上をはじめとして新商品開発を行う。 ・パッケージの改良やネットの活用などにより、新規顧客の開拓をはじめとして販路拡大のための活動を行う。 椿油・椿製品の新商品開発1名 販売促進、販路拡大1名</p>	実施年度	平成25年度～平成27年度	
		成果指標	①新商品開発②パッケージ改良③定住者数	
		目標値	3品 1品 2人	
		実績値	3品 1品 1人	
		達成率	100% 100% 50%	
		決算（見込）額	8,423千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	・地域おこし協力隊の3カ年の活動計画において、新商品開発3品、パッケージ改良を1品としている。 ・活動終了後、定住することを目的としているため定住者数を目標値に設定した。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 新商品の開発やバイヤーへの営業による販路拡大、商談会への参加、県内外物産展への参加を通じて、椿油の売上増大、PRに繋がった。</p> <p>(成果・課題等) 2名のうち1名は定住したが、1名は本人の諸事情により定住することができなかった。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

2-4-① 新産業の創出・育成（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
5	<p>(事業名)</p> <p>地域おこし協力隊推進事業（観光）</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>経済の低迷による若者を中心とした島外への人口流出や少子高齢化等の進行が著しい本町において、地域力の維持活性化に資する活動を行う人材を島外から積極的に誘致し、その定住、定着を目的とし、旅行客の誘客活動と着地型観光の推進並びに物産振興活動を図る。</p> <p>(事業概要)</p> <p>地域おこし協力隊を2名配置し、以下の業務を遂行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信及び観光PR活動と旅行客の誘客活動 ・着地型観光の推進活動 ・観光客受け入れのための環境整備活動 ・特産品の販売及びPR活動 	実施年度	平成27年度～平成29年度	
		成果指標	観光客延数（年間）	
		目標値	287,000人	
		実績値	273,545人	
		達成率	95.3%	
		決算（見込）額	6,244千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対応リーフレット類、パッケージ等翻訳 ・上五島物産展等島外イベント出展しての観光PR ・新上五島町SNS情報発信 	(取組実績)	
	(成果・課題等)	インバウンド対応のリーフレット類の翻訳により受入体制の進展が図れた。また、SNS等による情報発信により、本町の観光情報等を拡散できた。	(成果・課題等)	
6	<p>(事業名)</p> <p>地域おこし協力隊推進事業（文化）</p> <p>【文化財課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>経済の低迷による若者を中心とした島外への人口流出や少子高齢化等の進行が著しい本町において、地域力の維持活性化に資する活動を行う人材を島外から積極的に誘致し、その定住、定着を目的とし、文化的景観の魅力为全国に発信するとともに、文化的景観にまつわる体験事業の企画・実施や地域住民を巻き込んだ活動を実施し、将来的に地域の拠点となる場の創出を目指す。</p> <p>(事業概要)</p> <p>国の重要文化的景観に選定された北魚目及び崎浦地域に地域おこし協力隊を2名配置し、以下の業務を遂行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との信頼関係の構築 ・散策ガイドマップや案内ルートの作成 ・HPやSNSを使った魅力のPR（情報発信） ・文化的景観にまつわる体験事業の企画・実施 	実施年度	平成27年度～平成29年度	
		成果指標	情報発信回数	
		目標値	240回	
		実績値	475回	
		達成率	198%	
		決算（見込）額	6,441千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	国選定重要文化的景観について、島内外に広く周知を行うため、上記数値を成果指標し、インターネットへの記事のアップや新聞の発行などの回数を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加（運動会、体験事業、地区の祭り、清掃作業など） ・散策ガイドマップ ・SNS・ブログによる情報発信のほか、新聞の発行によるPR ・ストーンフェスタの開催、かんころづくり体験の実施 	(取組実績)	
	(成果・課題等)	地域行事に積極的に参加することで、地域住民とコミュニケーションが図られ、イベントの際には、地域住民を巻き込んで実施することができた。また、インターネットを活用した情報発信のほか、地元向けに新聞を発行し、文化的景観事業を広く周知することができた。課題としては、文化的景観専用HPが予算的な事情により開設することができなかった。	(成果・課題等)	

2-4-② つばき産業プランの実践

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名)</p> <p>つばき有害植物対策事業</p> <p>【農林課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>つばきの有害とされる病虫害、寄生植物等を効果的に駆除し、健全なつばき林の保護育成を図り、またその病虫害の拡大防止策や保護の方法を調査研究する。駆除と予防両面において、島の宝、特産であるつばきを守り、安定的なつばき油増産につなげ、産業振興を図る。</p> <p>(事業概要)</p> <p>県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業において4名を雇用し、つばき有害植物対策業務を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤドリギ駆除及び追跡調査 ・予防対策の試験調査 ・街路樹活性化対策 	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	ヤドリギ駆除面積	
		目標値	8,696㎡	
		実績値	8,696㎡	
		達成率	100%	
		決算(見込)額	4,814千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	<p>昨年の寄生植物(ヤドリギ等)駆除事業による被害範囲の調査結果を基に、拡散を防止するためヤドリギ駆除計画面積を目標値とした。</p>	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>ヤドリギ駆除及び追跡調査15箇所 予防対策の試験調査38種目7箇所 街路樹活性化対策1箇所</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>ヤドリギ駆除に精通する者の育成ができた。ヤドリギ対策の方法や対策について、一定の成果が見られる。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
2	<p>(事業名)</p> <p>樺の植林・保全ボランティア活動事業</p> <p>【農林課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>(株)資生堂が実施する「五島列島樺の植林・保全ボランティア活動」において植林した樺苗木の保育・下刈り・活動指導を行う。</p> <p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樺苗木保全 ・下草刈作業 ・ボランティア活動指導 	実施年度	平成22年度～	
		成果指標	保育面積	
		目標値	4,588㎡	
		実績値	4,588㎡	
		達成率	100%	
		決算(見込)額	693千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	<p>鯨見山を樺の森としていくため、植林した樺苗木の保育面積を目標値と設定した。</p>	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>鯨見山資生堂樺の森において、80本の植樹と合わせて、これまでに植栽した箇所の下草刈作業や階段設置などの作業を実施。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>第2期目(平成26年度～平成28年度)を実施中で、資生堂社員と地元団体が協力して実施し、さらなる日本一の樺の島づくりのアピールに努めた。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

2-4-② つばき産業プランの実践（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
3	<p>(事業名) つばき新産業育成事業</p> <p>【農林課】</p> <p>(事業目的) つばき木工房 椿林整備事業による発生材を有効活用し、木工加工技術を習得、生産販売等を通じて椿材等活用の有効性を広く周知し、新たな産業化につなげ、地域活性化を図る。今後1人でも多くの自前の工房を持った木工起業家として独立してもらう。</p> <p>(事業概要) 1.木工新製品の製作 2.販売力の強化</p>	実施年度	平成25年度～	
		成果指標	つばき木工房会員数	
		目標値	23人	
		実績値	30人	
		達成率	130.4%	
		決算（見込）額	2,972千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	椿材等活用の有効性を広く周知し、新たな産業化につなげ、地域活性化を図るため、前年度のつばき木工房の会員数を維持していくことを目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	木工技術習得のため県外から講師を招き木工講習会4回開催、県外先進地視察研修1回実施。クラフトコンペ開催。510列島まつり等の島外イベント出店。島内イベントで大型クルーズ船、つばき里山まつりに出店。	(取組実績)	
	(成果・課題等)	県ツバキ振興対策補助金を活用し、保管用倉庫、レーザー加工機を導入し施設の充実を図り、木工製品の質の向上が見られた。新たな商品の製作が行われた。木工製品の売上額1,598千円	(成果・課題等)	
4	<p>(事業名) 沿道つばき林整備事業</p> <p>【農林課】</p> <p>(事業目的) 道路沿いのつばき林を整備し、椿の育成を促進するとともに、景観向上を図る。</p> <p>(事業概要) 町内の国道、県道、町道、農林道、その他の道路沿いで、つばきが多く自生し、景観向上が望める場所で、申請団体が町が協議して決定した場所について、申請団体が、地区内の沿道つばき林の整備（不用木の伐採、下刈り、剪定等）を実施。そして、作業にかかった賃金相当額の1/2を予算の範囲内で助成する。 助成単価：男性 3,150円/日（6,300円の1/2） 女性 2,650円/日（5,300円の1/2）</p>	実施年度	平成20年度～	
		成果指標	整備延長（年間）	
		目標値	5,000m	
		実績値	1,117m	
		達成率	22.3%	
		決算（見込）額	372千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	協力団体による道路沿いの椿林整備延長を年間5,000mとしている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	空港線延長：667m、面積：1,795㎡ 竹谷地区延長：50m、面積：150㎡ 仲知地区延長：400m、面積：1,200㎡	(取組実績)	
	(成果・課題等)	周辺景観の向上や環境に対する意識の高揚、植樹の技術向上に繋がった。年々申請団体が減少傾向にあり、整備延長が短くなってきている。	(成果・課題等)	

2-4-② つばき産業プランの実践（つばき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
5	<p>(事業名) つばき苗木支給事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 町の花木であるつばきを無償で支給し、耕作放棄地解消、つばき林造成を図る。</p> <p>(事業概要) 耕作放棄地解消、つばき林造成、町PR活動等を実施する希望者に対し、つばき苗木を無償で配布する。</p>	実施年度	平成23年度～	
		成果指標	つばき苗木無償配布本数	
		目標値	3,800本	
		実績値	2,777本	
		達成率	73.1%	
		決算（見込）額	1,146千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	耕作放棄地解消、つばき林造成を図ることが目的であるため、成果指標はつばき苗木無償配布本数とした。目標値は農林課で計画する本数とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>荒廃農地復旧：218本、つばき林造成：170本、成人式記念：220本、沿道つばき林整備：204本、その他の事業（510列島まつり、クルーズ船入港等）：1,965本</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>高齢化、過疎化により畑や山の作業に従事する人数が減っている。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
6	<p>(事業名) つばきアイランドプラン推進協議会補助事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) ①島の宝であるつばきを産業として活用するために、全島的な事業展開を図り、上五島に新たな産業を興し、就業機会の拡充と地域経済の活性化を目指す。 ②椿油及び椿製品の生産増大、販売拡大が図られるとともに、交流人口の増大、観光関連産業の振興が期待され、つばき関連製造業の振興、交流産業の振興に寄与する。 ③就業意欲と就業機会を拡大し、人口減少に伴う地域活力の低下に歯止めをかけ、新上五島町が目指す「自立するしま」の建設に寄与する。 ④椿の島づくりは、新上五島町が夢を持って全島的に取り組む事業であり、地域格差の是正に役立つことが期待される。 ⑤製造販売事業活動が民間で展開されることに鑑み、その支援を行政が行い、町民と行政の役割分担と連携によって事業効果が増大していくことが期待される。</p> <p>(事業概要) ・つばきアイランドプランの検証 ・つばき文化映像作成</p>	実施年度	平成20年度～	
		成果指標	会議開催回数	
		目標値	2回	
		実績値	1回	
		達成率	50%	
		決算（見込）額	1,727千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	アイランドプランを検証するため、会議の開催回数を目標値として設定した。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>アイランドプラン会議：1回開催 つばき文化映像作成：1.0式</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>アイランドプランの期間が終了するため、次の計画作成に向けて取り組む必要がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

2-4-② つばき産業プランの実践（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
7	<p>(事業名) 全国椿サミット事業（沿道椿林整備） 【農林課】</p> <p>(事業目的) 町の花木である椿をはじめとする地域資源を全国に向けて発信することで交流人口の拡大につなげるとともに、町民が椿を資源として再認識する契機とすることを目的とする。</p> <p>(事業概要) 平成29年度に開催予定の全国椿サミット上五島大会に向け、道路沿いの椿林の整備を行う。 整備延長：18,814m 整備面積：102,120㎡ 椿植栽：570本 全体事業費：14,390千円</p>	実施年度	平成27年度～平成29年度		
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）		
		目標値	49.1%		
		実績値	49.1%		
		達成率	100%		
		決算（見込）額	7,070千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	
			(成果・課題等) 事業計画どおり進捗している。	(成果・課題等)	
8	<p>(事業名) 自生椿林整備事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 町内に多く自生しているつばき林を、除伐・断幹することにより、つばき実の増産等につなげる。また、つばき林整備の作業効率向上、将来のつばき実収穫用に作業道を開設する。</p> <p>(事業概要) つばき林整備作業の効率化と今後の下刈り等やつばき実収穫用として作業道を新設</p>	実施年度	平成27年度～		
		成果指標	自生椿林整備面積		
		目標値	30ha		
		実績値	34.24ha		
		達成率	86%		
		決算（見込）額	48,039,480		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	つばき特区にかかる整備面積を達成するため、年度計画量を目標値として設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	
			(成果・課題等) 既に計画量は達成している。	(成果・課題等)	

2-4-③ 地場産業の振興と地産地消の推進

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	(事業名) 給食センター給食会地産地消事業 【学校教育課(給食センター)】 (事業目的) 地産地消の推進と地元農業・水産業等の活性化及び子どもたちの食育推進を図るため、学校給食用食材は可能な限り地元産を使用する。 (事業概要) 各給食センターにおいて、給食用食材は可能な限り地元産を使用する。	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	地元調達率		
		目標値	43.73%		
		実績値	46.20%		
		達成率	105.6%		
		決算(見込)額	40,207千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	学校給食用食材は可能な限り地元産を使用していくため、地元調達率を成果指標としている。 目標値は前年度調達率。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) 全国学校給食週間期間中、前年度に引き続き地元産食材や伝統食材を使った「ぶりの照り焼き」、「塩麴肉じゃが」、「あつめ」、「鯨のごまみそあえ」などの郷土料理のメニューも実施し、地場産品をPRし (成果・課題等) 旬の食材をできるだけ多く活用するため、生産者との意見交換会を開催している。	(取組実績) (成果・課題等)	

2-4-④ 特産品の販路拡大

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	(事業名) 特産品開発支援事業(物産展等参加団体出展助成事業) 【観光商工課】 (事業目的) 島外で実施される物産展等に多くの業者の参加を促進し、新上五島町の魅力、新上五島町民の人情味及び活気等を島外の方々に強く宣伝する。 (事業概要) 島外の物産展等への参加に要する経費の一部を補助する。 補助率 1/2、上限3万円、年5回まで申請可能	実施年度	平成19年度～		
		成果指標	観光消費額(土産代)		
		目標値	652,887千円		
		実績値	448,180千円		
		達成率	68.6%		
		決算(見込)額	1,414千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	長崎県観光統計の観光消費額(土産代)を目標値とした。 ※前年度と比較して、約30%の減であるが、これは集計方法の変更による結果である。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) 島外での物産展に参加した事業者等に延べ51件、1,414千円の補助を行った。 (成果・課題等) 申請回数の上限の変更を希望する意見も上がっている。	(取組実績) (成果・課題等)	

2-4-④ 特産品の販路拡大（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
2	<p>(事業名) うどん産業育成補助事業 【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 五島手延うどん生産者が商品の品質向上の意識や技術を高めることにより、消費者が商品に対して信頼し、安心して購入するようになることを目的としている。その具体的な手段として、認定工場、認証商品の制度の確立を目指している。また、産地全体としてPR活動を実施することにより、五島手延うどんの全国的な知名度向上を目指している。</p> <p>(事業概要) 五島手延うどん振興協議会への補助金交付・町内うどん業者29社</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	うどん出荷額		
		目標値	1,600,000千円		
		実績値	1,189,045千円		
		達成率	74%		
		決算（見込）額	1,000千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	産地全体のうどん出荷額を目標値とする。16億の数値については、振興計画に基づく。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	五島手延うどん振興協議会認定工場・認定商品の認定検査・うどん天下一決定戦参加や五島うどんば食うてさるこうイベント開催などPR活動経費等に対して助成を実施。	(取組実績)
			(成果・課題等)	「五島手延うどん」というブランドイメージを守るため、地理的表示保護制度を取得する。また、他の事業（マーケティング事業など）を活用して、更なる売り上げの向上に取り組む。	(成果・課題等)
3	<p>(事業名) 特産品ブランド化支援推進事業補助事業 【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 特産品について販路の拡大と認知度の向上を推進することで、地場産業の活性化と雇用拡大を図る。</p> <p>(事業概要) ブランド化に必要な不可欠な商品自体の価値を上げる取り組みのうち、情報価値（パッケージ、広告イメージ）を高める。特産品のパッケージと販促ツール制作費を助成（補助率1/2、上限50万）</p>	実施年度	平成25年度～		
		成果指標	パッケージ改良件数		
		目標値	4件		
		実績値	3件		
		達成率	75%		
		決算（見込）額	769千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	パッケージの改良件数を成果指標とし、申請件数を目標値とした。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	3件の新商品開発 申請件数は4件であったが、取り下げが1件あった。	(取組実績)
			(成果・課題等)	本来は、予定通り4件の支援を行う予定であったが、世界遺産登録延期で1件の申請取り下げとなった。結果として目標をやや下回ることとなった。	(成果・課題等)

2-4-④ 特産品の販路拡大（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
4	<p>(事業名) 特産品ブランド全国PR強化事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 本町の特産品について販路拡大と認知度の向上を推進することで、地場産業の活性化と雇用拡大を図る。</p> <p>(事業概要) 本町の特産品を県内外はもとより、全国へ広く知ってもらうために、以下の事業を実施し、地場産業の活性化を図る。 ①百貨店販売 ②物産展開催 ③飲食店フェア ④五島うどんPR（CM制作、TVスポット放送、うどん天下一決定戦参加） ⑤五島うどん販売拡大キャンペーン</p>	実施年度	平成25年度～		
		成果指標	地場産品販売額（年間）		
		目標値	1,873百万円		
		実績値	1,614百万円		
		達成率	86.2%		
		決算（見込）額	18,426千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、地場産品販売額【年間】を1,592百万円（H25）をH31までに1,873百万円にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	①福岡三越百貨店（参加事業者5業者）②岩田屋百貨店（参加事業者5業者）③JR博多駅イベント（参加事業者10業者）④阪急梅田駅構内店（参加事業者9業者）⑤飲食店での上五島フェア（首都圏・和食21店舗）⑥BBQ会場での上五島フェア（首都圏1ヶ所）⑦牡蠣小屋会場での上五島フェア（福岡市1ヶ所）⑧五島うどんCM放映⑨五島うどん料理、あごだしつゆレシピ動画制作⑩五島うどん試食PR開催（都市圏70日）	(取組実績)
			(成果・課題等)	商品力の向上や地場素材の掘り起こしが必要である。	(成果・課題等)
5	<p>(事業名) 長崎産地ブランド産品輸出促進事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 県民所得の向上を目的に製造業の強化を目指し、地域経済や雇用を支えている食品製造業の地域産品（五島うどん、島原そうめん、壱岐焼酎など）を県外及び海外に販路を拡大することを目的とする。</p> <p>(事業概要) フランスを中心にイタリアなどEU圏をターゲットとした「ながさきの麺海外展開プロジェクト」を実施し、海外の販路拡大を目指す。</p>	実施年度	平成26年度～		
		成果指標	うどん出荷額		
		目標値	1,600,000千円		
		実績値	1,189,045千円		
		達成率	74%		
		決算（見込）額	3,000千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	産地全体のうどん出荷額を目標値とする。16億の数値については、振興計画に基づく。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	パリで開催された日本文化のイベント「Japan Expo」にて飲食ブースとして出展し、うどん2,172杯を販売。イタリアのミラノ国際博覧会の日本館イベントステージに出展し、うどんの試食提供、五島うどんの手掛け実演を実施。また、ミラノ等の飲食店に営業活動を実施。	(取組実績)
			(成果・課題等)	ミラノを中心に6店舗においてメニューに五島うどんが採用されることになった。	(成果・課題等)

2-4-④ 特産品の販路拡大（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
6	<p>(事業名)</p> <p>パートナーシップ協定事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>本町と関連のある日本を代表する企業が持つ情報発信力や店舗を活用し、観光と物産の振興、地元の雇用促進、知名度向上を図り、地域経済の活性化につなげることを目指し、相互の業務連携を図る。</p> <p>(事業概要)</p> <p>新上五島町の魅力を全国へ情報発信することに関すること。 食を中心とした総合的な調査研究及び情報提供に関すること。 食を通じた地域活性化のための企画に関すること。 町内観光と物産の活性化に関する調査研究及び企画提案に関すること。 地元雇用促進に関する調査研究及び企画提案に関すること。 町内宿泊動向調査研究及び宿泊施設の企画提案に関すること。</p>	実施年度	平成26年度～		
		成果指標	観光客延数（年間）		
		目標値	287,000人		
		実績値	273,545人		
		達成率	95.3%		
		決算（見込）額	300千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>際コーポレーション(株)とのパートナーシップ協定に基づき『上五島アートプロジェクト』実施費用の一部として、300千円を負担した。 ・上五島アートプロジェクト ・マスコミへの情報発信 ・地元食材を使った料理の開発</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>事業を通じて情報発信ツールの作成ができた。また際コーポレーション(株)からの協力で、マスコミ等に取り上げていただく機会が増えた。今後は雇用に関する事業を実施していく必要がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	